

日本文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
日本文芸形成論特論Ⅰ	長明・無住・兼好の思想と文学	2	土屋 有里子	前期集中 その他 連講	
日本文芸形成論特論Ⅱ	〈歴史〉の表現史	2	佐倉 由泰	後期 水曜日 4講時	
日本文芸形成論特論Ⅲ	〈フィクション〉をめぐる諸問題	2	仁平 政人	前期 水曜日 4講時	
日本文芸形成論特論Ⅳ	日本近代詩におけるモダニズムと昭和期のロマン主義	2	野坂 昭雄	通年集中 その他 連講	
日本文学総合演習Ⅰ	日本文学史の考究とその論述	2	佐倉 由泰・横溝 博・仁平 政人	前期 火曜日 4講時	
日本文学総合演習Ⅱ	日本文学史の考究とその論述	2	佐倉 由泰・横溝 博・仁平 政人	後期 火曜日 4講時	
日本古典文学研究演習Ⅰ	『源氏物語』の探究	2	横溝 博	前期 月曜日 4講時	
日本古典文学研究演習Ⅱ	『源氏物語』の探究	2	横溝 博	後期 月曜日 4講時	
日本古典文学研究演習Ⅲ	『曾我物語』、『義経記』の表現形成	2	佐倉 由泰	前期 木曜日 4講時	
日本古典文学研究演習Ⅳ	『曾我物語』、『義経記』の表現形成	2	佐倉 由泰	後期 木曜日 4講時	
日本近代文学研究演習Ⅰ	近現代文学における〈異界〉	2	仁平 政人	前期 水曜日 2講時	
日本近代文学研究演習Ⅱ	近現代文学における〈異界〉	2	仁平 政人	後期 水曜日 2講時	

科目名：日本文芸形成論特論 I / Study of Formation of Japanese Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：第1学期集中 単位数：2

担当教員：土屋 有里子

コード：LM98801, 科目ナンバリング：LJS-LIT601J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：長明・無住・兼好の思想と文学

2. Course Title (授業題目)：Philosophy and Literature of Chomei, Muju, and Kenko

3. 授業の目的と概要：鴨長明、無住道暁、兼好法師はそれぞれ、『方丈記』、『沙石集』、『徒然草』の著者として名高い。本授業ではまず三者の作品を通してその生涯と思想をとらえ、後半ではテーマを設定し、三者の共通点と差異から中世文学への理解を深めるものとする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Kamo no Chomei, Muju Dogyo, and Kenko Hoshi are famous as the authors of "Hojoki," "Shasekishu," and "Tsurezuregusa," respectively. In this class, we will first look at the lives and thoughts of these three authors through their works, and then, by setting a theme, we will deepen our understanding of medieval literature through the similarities and differences among them.

5. 学習の到達目標：・中世文学を読解するために必要な言葉や仏教的知識について、基本的なことを習得する。

・説話文学の特質と意義について理解する。

・文学を基点として、中世の歴史や宗教、文化的事象について興味をもち知識を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：・The course is designed to provide students with a basic understanding of the language and Buddhist knowledge necessary to read and understand medieval literature.

・Students will acquire a basic understanding of the characteristics and significance of medieval literature.

・Students will deepen their interest in and knowledge of medieval history, religion, and cultural events using literature as a starting point.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

01. ガイダンス、随筆と説話集について
02. 鴨長明の生涯と思想1
03. 鴨長明の生涯と思想2
04. 鴨長明を読む1－『方丈記』
05. 鴨長明を読む2－『発心集』、『無名抄』
06. 無住道暁の生涯
07. 無住道暁と日宋間僧侶ネットワーク
08. 無住道暁を読む－『沙石集』、『雑談集』
09. 兼好法師の生涯と思想
10. 兼好法師を読む－『徒然草』
11. 長明・無住・兼好1－住处への執着
12. 長明・無住・兼好2－女性観
13. 長明・無住・兼好3－和歌
14. 長明・無住・兼好4－老いと死を考える
15. まとめと理解度の確認

8. 成績評価方法：

・授業への参加態度と、授業中数回提出を求める小レポート (40%)

・授業の最後に課す確認テスト (60%)

9. 教科書および参考書：

・教科書：使用せずプリントを配布する。

・参考書：

- ① 浅見和彦校訂・訳『方丈記』(ちくま学芸文庫 2011)
- ② 浅見和彦・伊東玉美訳注『新版 発心集』上・下(角川ソフィア文庫 2014)
- ③ 土屋有里子『『沙石集』の世界』(株式会社あるむ 2022)
- ④ 小川剛生訳注『新版 徒然草』(角川ソフィア文庫 2015)

10. 授業時間外学習：授業の復習に毎回1時間程度。授業で扱う作品を自主的に読むことが必要である。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：日本文芸形成論特論Ⅱ／ Study of Formation of Japanese Literature(Advanced Lecture)

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

Semester：2 学期 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰

コード：LM23402, 科目ナンバリング：LJS-LIT602J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：〈歴史〉の表現史
2. Course Title (授業題目)：Research on History which Described Various Literary and Cultural History
3. 授業の目的と概要： 演習形式を取り入れた授業を通して、文学、文化、社会を語るさまざまな歴史叙述（研究史も含まれる）がどのように形成されてきたのかというその表現史について考究する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will clarify the mechanism of expressions of history which described literary and cultural history.
5. 学習の到達目標： 文学、文化、社会について、発見的に思考し、語るための高度で専門的な読解力、分析力、洞察力を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students acquire advanced and specialized ability necessary to think about literature, culture and society creatively.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. はじめに
 2. 〈歴史〉の表現史を考えるとということ
 3. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 4. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 5. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 6. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 7. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 8. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 9. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 10. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 11. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 12. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 13. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 14. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 15. まとめ
8. 成績評価方法：

授業時の発表 [60%]・授業への参加 [40%]
9. 教科書および参考書：

テキストは、特に指定しない。参考書は、授業時に随時紹介する。
10. 授業時間外学習： 各回の授業で取り上げるさまざまな記述をあらかじめ精読して授業に臨むこと。また、授業を通して関心を持った問題について、幅広く考察を深めて行くことが重要である。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：日本文芸形成論特論Ⅲ／ Study of Formation of Japanese Literature(Advanced Lecture)

曜日・講時：前期 水曜日 4講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：仁平 政人

コード：LM13401, 科目ナンバリング：LJS-LIT603J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：〈フィクション〉をめぐる諸問題

2. Course Title (授業題目)：Research on various issues about "Fiction"

3. 授業の目的と概要：「フィクション（虚構）」は、文学というジャンルに密接に関わるだけでなく、私たちを取り巻く多様な文化に、さらには私たちの生のあり方に深い関係を有している。だが、フィクション（虚構）の意義や働きを正面から問うことは、文学研究においても決して多く為されてきたとは言えない。本授業ではフィクションに関する近年の理論的な動向も参照しながら、広い意味での〈フィクション〉という観点で古典から近現代にいたる日本文学の多様な問題に光を当てることを課題とする。

授業は演習形式で、受講者は(1)自身の関心に基づく報告、(2)関連する文献の検討のいずれかを行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)："Fiction" is not only closely related to literature, but also has a deep relationship to the diverse cultures that surround us and to the way we live our lives. In this class, we will shed light on various issues in Japanese literature from the classics to the modern era from the perspective of "fiction" in the broadest sense, while referring to recent theoretical trends in fiction. This class will be conducted in the form of exercises.

5. 学習の到達目標：テキストを読解する能力を高めるとともに、日本文化および批評理論についての教養を蓄え、自身の研究に応用する視点を獲得する。また、口頭発表と討議を通してディベート力を養う。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：To improve the ability to analyze texts and to acquire knowledge of Japanese culture and critical theory.

To develop debate skills through oral presentations and discussions.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 担当者による口頭発表と討論
3. 担当者による口頭発表と討論
4. 担当者による口頭発表と討論
5. 担当者による口頭発表と討論
6. 担当者による口頭発表と討論
7. 担当者による口頭発表と討論
8. 担当者による口頭発表と討論
9. 担当者による口頭発表と討論
10. 担当者による口頭発表と討論
11. 担当者による口頭発表と討論
12. 担当者による口頭発表と討論
13. 担当者による口頭発表と討論
14. 担当者による口頭発表と討論
15. 担当者による口頭発表と討論

8. 成績評価方法：

授業における発表(60%)・授業への参加(出席・質疑応答)(40%)

9. 教科書および参考書：

参考文献は授業中に適宜紹介する。

10. 授業時間外学習：授業で取り上げるテキストを受講者全員が事前に精読しておくこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：日本文芸形成論特論Ⅳ／ Study of Formation of Japanese Literature(Advanced Lecture)

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中 単位数：2

担当教員：野坂 昭雄

コード：LM98802, 科目ナンバリング：LJS-LIT604J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：日本近代詩におけるモダニズムと昭和期のロマン主義
2. Course Title (授業題目)：Modernism and Showa Romanticism in modern Japanese poetry
3. 授業の目的と概要：本授業の目的は、特に詩の観点からモダニズムと昭和期のロマン主義（日本浪漫派）の接点を探り、複雑な諸相を持つ昭和戦前期の文学的状况を理解することです。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this class is to explore the connection between modernism and Showa era romanticism (Japan Romantic School), especially from the perspective of modern poetry, and to understand the complicated literary situation of Showa prewar period.
5. 学習の到達目標：①モダニズムおよび昭和期のロマン主義に関する基礎的知識を持っている
②授業を通して得られた観点から各自の文学的問題を考えることができる
6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) To have basic knowledge on modernism and Showa era romanticism
(2) To be able to think one's literary concerns through the perspectives this lecture showed
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 概説／近代詩の展開
 2. 近代と都市文化の発展
 3. 探偵小説の発生
 4. ソシユール言語学とノイズ
 5. ダダイスムとシュルレアリスム
 6. モダニズムにおける主体性の消去
 7. 詩というメディアの特質
 8. 日本におけるロマン主義
 9. 「日本への回帰」と故郷
 10. 日本浪漫派と保田與重郎
 11. 日本浪漫派における〈詩〉
 12. 昭和期の抒情詩の展開
 13. 自然とイロニー・技術
 14. 戦争詩の評価
 15. まとめ
8. 成績評価方法：
最終レポート（60%）・授業への取り組み（コメントペーパーの内容含む、40%）
9. 教科書および参考書：
教科書は用いず、プリントを配布します。参考文献は授業中に適宜指示します。
10. 授業時間外学習：指示があった場合は、作品等を事前に精読しておいてください。
また、自分の関心と講義の内容とを結びつけて考える時間を持ってください。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：
なし

科目名：日本文学総合演習 I / Japanese Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰・横溝 博・仁平 政人

コード：LM12404, 科目ナンバリング：LJS-LIT605J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：日本文学史の考究とその論述

2. Course Title (授業題目)：Research of History of Japanese Literature

3. 授業の目的と概要： 論文作成の実践にもとづく日本文学の作品、表現についての演習形式の授業を通して、個別の作品、表現の特質を明らかにし、その意義を広く文学史、文化史の中に位置づけて行く。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this course, students will clarify the characteristics of individual expressions in Japanese literature works by practicing the writing of treatises, and position their significance widely in the history of literature and culture.

5. 学習の到達目標： 日本文学を着実に考究し、論述し、歴史的に意味づけるための高度で専門的な問題発見力、分析力、構想力を総合的に習得する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students comprehensively acquire advanced and specialized problem-finding ability, analytical ability, and conceptual ability necessary for steadily studying, discussing, and historically making sense of Japanese literature.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

基本的に、対面授業のみにより（オンラインによる参加も可能）実施する。

1. ガイダンス

2. 考察発表とそれにもとづく意見交換

3. 考察発表とそれにもとづく意見交換

4. 考察発表とそれにもとづく意見交換

5. 考察発表とそれにもとづく意見交換

6. 考察発表とそれにもとづく意見交換

7. 考察発表とそれにもとづく意見交換

8. 考察発表とそれにもとづく意見交換

9. 考察発表とそれにもとづく意見交換

10. 考察発表とそれにもとづく意見交換

11. 考察発表とそれにもとづく意見交換

12. 考察発表とそれにもとづく意見交換

13. 考察発表とそれにもとづく意見交換

14. 考察発表とそれにもとづく意見交換

15. まとめ

8. 成績評価方法：

授業における発表 [60%]・授業への参加 [40%]

9. 教科書および参考書：

テキストは、特に指定しないが、各回で考察対象とする作品のテキストを各自で用意する。

参考書は、随時紹介する。

10. 授業時間外学習： 授業で取り上げる作品とあらかじめ配布された資料を精読し、質問事項を用意しておくこと。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

この授業は I・II を連続して履修すること。

科目名：日本文学総合演習Ⅱ／ Japanese Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 4講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰.横溝 博.仁平 政人

コード：LM22405, 科目ナンバリング：LJS-LIT606J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：日本文学史の考究とその論述

2. Course Title (授業題目)：Research of History of Japanese Literature

3. 授業の目的と概要： 論文作成の実践にもとづく日本文学の作品、表現についての演習形式の授業を通して、個別の作品、表現の特質を明らかにし、その意義を広く文学史、文化史の中に位置づけて行く。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will clarify the characteristics of individual expressions in Japanese literature works by practicing the writing of treatises, and position their significance widely in the history of literature and culture.

5. 学習の到達目標： 日本文学を着実に考究し、論述し、歴史的に意味づけるための高度で専門的な問題発見力、分析力、構想力を総合的に習得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students comprehensively acquire advanced and specialized problem-finding ability, analytical ability, and conceptual ability necessary for steadily studying, discussing, and historically making sense of Japanese literature.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 考察発表とそれにもとづく意見交換
2. 考察発表とそれにもとづく意見交換
3. 考察発表とそれにもとづく意見交換
4. 考察発表とそれにもとづく意見交換
5. 考察発表とそれにもとづく意見交換
6. 考察発表とそれにもとづく意見交換
7. 考察発表とそれにもとづく意見交換
8. 考察発表とそれにもとづく意見交換
9. 考察発表とそれにもとづく意見交換
10. 考察発表とそれにもとづく意見交換
11. 考察発表とそれにもとづく意見交換
12. 考察発表とそれにもとづく意見交換
13. 考察発表とそれにもとづく意見交換
14. 考察発表とそれにもとづく意見交換
15. まとめ

8. 成績評価方法：

授業における発表 [60%]・授業への参加 [40%]

9. 教科書および参考書：

テキストは、特に指定しないが、各回で考察対象とする作品のテキストを各自で用意する。

参考書は、随時紹介する。

10. 授業時間外学習： 授業で取り上げる作品とあらかじめ配布された資料を精読し、質問事項を用意しておくこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

この授業はⅠ・Ⅱを連続して履修すること。

科目名：日本古典文学研究演習 I / Study of Japanese Classical Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：横溝 博

コード：LM11401, 科目ナンバリング：LJS-LIT607J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『源氏物語』の探究

2. Course Title (授業題目)：Study of "The Tale of Genji"

3. 授業の目的と概要：『源氏物語』「玉鬘」巻を輪読する。担当者は割り当てられた範囲の【梗概】および【考察】をレジュメとしてまとめ、それを資料として用意し、事前に配布した上で発表する。発表者が提起した問題点について、参加者全員で検討を加え、ブラッシュアップしていくことで、物語の読解力を高めていくことを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this class, you will read the volume captioned 'Tamakazura' in Genji Monogatari. The person in charge summarizes the [abstract] and [consideration] of the assigned range as a resume, prepares it as a material, distributes it in advance, and announces it. The aim is to improve the reading comprehension of the story by reviewing and brushing up the issues raised by the presenters with all participants.

5. 学習の到達目標：『源氏物語』「玉鬘」巻を精読することで、(1) 物語の虚構の方法や人物造型のありよう、語り、和歌を含めた表現の様式、物語の構造等について理解を深める。(2) 諸注釈、各種辞典(事典)類の活用の仕方を学び、作品読解に関わる基本的な知識を習得する。以上を通して、物語を「読む」力を高めることで、課題に研究的に取り組むための基本的な知識と技能を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：By carefully reading "Genji Monogatari" (Tamakazura Chapter), students will deepen your understanding of the fictional method of the story, the way the figure is modeled, the style of expression including narrative and waka poems, and the structure of the story. Learn how to use various annotations and various dictionaries, and acquire basic knowledge related to reading comprehension of works. Through the above, by improving the ability to "read" the story, students will acquire the basic knowledge and skills to tackle the problem researchfully.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス (発表者及びローテーション決定)
2. 講義 (「玉鬘」巻までの物語の流れ、第一部の構成、物語の人物について)
3. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
4. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
5. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
6. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
7. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
8. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
9. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
10. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
11. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
12. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
13. 「玉鬘」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
14. 「玉鬘」巻の自由発表×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
15. 「玉鬘」巻の自由発表×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ

8. 成績評価方法：

授業時の発表および期末レポート (発表のまとめ) の内容 [60%]、授業への参加 (質疑応答を含む) [40%]

9. 教科書および参考書：

【テキスト】岩波文庫『源氏物語 (四) 玉鬘～真木柱』(岩波書店、2018 年)を用いるので、大学生協等で購入のこと。

【参考書】中野幸一編『〈新装版〉常用 源氏物語要覧』（武蔵野書院、2012年）がある。その他、参考文献は随時紹介する。

10. 授業時間外学習：毎回の輪読箇所が決まっている上、資料が事前に配布されているので、参加者はあらかじめ該当範囲を読み込んでおき、発表内容について自分なりに疑問点や質問事項を準備しておいた上で、授業に臨むこと。授業での質疑応答はディスカッションやコメントのトレーニングとなるよう期している。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

- ・本演習は、第6セメスターも続けて履修すること。
- ・物語の展開を先取りせず、物語の筋をたどりながら読むことの面白さや発見、興味を大事にしていく。

科目名：日本古典文学研究演習Ⅱ／ Study of Japanese Classical Literature(Advanced Seminar)II

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：横溝 博

コード：LM21401, 科目ナンバリング：LJS-LIT608J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『源氏物語』の探究

2. Course Title (授業題目) : Study of "The Tale of Genji"

3. 授業の目的と概要：『源氏物語』「真木柱」巻を輪読する。担当者は割り当てられた範囲の【梗概】および【考察】をレジュメとしてまとめ、それを資料として用意し、事前に配布した上で発表する。発表者が提起した問題点について、参加者全員で検討を加え、ブラッシュアップしていくことで、物語の読解力を高めていくことを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : In this class, you will read the volume captioned 'Makibashira' in Genji Monogatari. The person in charge summarizes the [abstract] and [consideration] of the assigned range as a resume, prepares it as a material, distributes it in advance, and announces it. The aim is to improve the reading comprehension of the story by reviewing and brushing up the issues raised by the presenters with all participants.

5. 学習の到達目標：『源氏物語』「真木柱」巻を精読することで、(1) 物語の虚構の方法や人物造型のありよう、語り、和歌を含めた表現の様式、物語の構造等について理解を深める。(2) 諸注釈、各種辞典(事典)類の活用の仕方を学び、作品読解に関わる基本的な知識を習得する。以上を通して、物語を「読む」力を高めることで、課題に研究的に取り組むための基本的な知識と技能を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : By carefully reading "Genji Monogatari" (Makibashira Chapter) , students will deepen your understanding of the fictional method of the story, the way the figure is modeled, the style of expression including narrative and waka poems, and the structure of the story. Learn how to use various annotations and various dictionaries, and acquire basic knowledge related to reading comprehension of works. Through the above, by improving the ability to "read" the story, students will acquire the basic knowledge and skills to tackle the problem researchfully.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス (発表者及びローテーション決定)
2. 講義 (「真木柱」巻までの物語の流れ、第一部の構成、物語の人物について)
3. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
4. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
5. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
6. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
7. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
8. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
9. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
10. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
11. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
12. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
13. 「真木柱」巻の輪読×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
14. 「真木柱」巻の自由発表×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ
15. 「真木柱」巻の自由発表×2
(1) 発表 (2) 質疑応答 (3) まとめ

8. 成績評価方法：

授業時の発表および期末レポート (発表のまとめ) の内容 [60%]、授業への参加 (質疑応答を含む) [40%]

9. 教科書および参考書：

【テキスト】岩波文庫『源氏物語 (四) 玉鬘～真木柱』(岩波書店、2018 年)を用いるので、大学生協等で購入のこと。

【参考書】中野幸一編『〈新装版〉常用 源氏物語要覧』（武蔵野書院、2012年）がある。その他、参考文献は随時紹介する。

10. **授業時間外学習**：毎回の輪読箇所が決まっている上、資料が事前に配布されているので、参加者はあらかじめ該当範囲を読み込んでおき、発表内容について自分なりに疑問点や質問事項を準備しておいた上で、授業に臨むこと。授業での質疑応答はディスカッションやコメントのトレーニングとなるよう期している。

11. **実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、**実務・実践的授業**であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. **その他**：

- ・本演習は、第5セメスターから続けて履修すること。
- ・物語の展開を先取りせず、物語の筋をたどりながら読むことの面白さや発見、興味を大事にしていく。

科目名：日本古典文学研究演習Ⅲ／ Study of Japanese Classical Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 木曜日 4講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰

コード：LM14201, 科目ナンバリング：LJS-LIT609J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『曾我物語』、『義経記』の表現形成
2. Course Title (授業題目)：Research on “Soga Monogatari” and “Gikeiki”
3. 授業の目的と概要： 演習形式の授業を通して、『曾我物語』、『義経記』の表現形成の問題を、広く文化的、社会的問題とかわらせて考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, we will clarify the characteristics of “Soga Monogatari” and “Gikeiki”, and position their significance in a wide range of cultural and social history.
5. 学習の到達目標： 文学、文化、社会について、発見的に思考し、語るための読解力、分析力、専門的知識、表現力を高める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students acquire advanced and specialized ability necessary to think about literature, culture and society creatively.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 2. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 3. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 4. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 5. 『曾我物語』、『義経記』についての解説
 6. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 7. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 8. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 9. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 10. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 11. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 12. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 13. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 14. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 15. 考察発表とそれにもとづく意見交換
8. 成績評価方法：

授業時の発表およびレポート [60%]・授業への参加 [40%]
9. 教科書および参考書：

テキストは、特に指定しない。参考書は、授業時に随時紹介する。
10. 授業時間外学習： 各回で考察対象となる物語の記述をあらかじめよく読んで授業に臨むこと。また、授業を通して関心を持った問題について、作品の本文や参考文献を進んで幅広く読んで、考察を深めて行くことが重要である。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

本演習（『曾我物語』、『義経記』の表現形成）は、2学期も連続して履修すること。

科目名：日本古典文学研究演習Ⅳ／ Study of Japanese Classical Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 木曜日 4講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：佐倉 由泰

コード：LM24201, 科目ナンバリング：LJS-LIT610J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『曾我物語』、『義経記』の表現形成
2. Course Title (授業題目)：Research on “Soga Monogatari” and “Gikeiki”
3. 授業の目的と概要： 演習形式の授業を通して、『曾我物語』、『義経記』の表現形成の問題を、広く文化的、社会的問題とかわらせて考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, we will clarify the characteristics of “Soga Monogatari” and “Gikeiki”, and position their significance in a wide range of cultural and social history.
5. 学習の到達目標： 文学、文化、社会について、発見的に思考し、語るための読解力、分析力、専門的知識、表現力を高める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students acquire advanced and specialized ability necessary to think about literature, culture and society creatively.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 2. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 3. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 4. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 5. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 6. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 7. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 8. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 9. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 10. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 11. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 12. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 13. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 14. 考察発表とそれにもとづく意見交換
 15. 考察発表とそれにもとづく意見交換
8. 成績評価方法：

授業時の発表およびレポート [60%]・授業への参加 [40%]
9. 教科書および参考書：

テキストは、特に指定しない。参考書は、授業時に随時紹介する。
10. 授業時間外学習： 各回で考察対象となる物語の記述をあらかじめよく読んで授業に臨むこと。また、授業を通して関心を持った問題について、作品の本文や参考文献を進んで幅広く読んで、考察を深めて行くことが重要である。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

本演習（『曾我物語』、『義経記』の表現形成）は、1学期から連続して履修すること。

科目名：日本近代文学研究演習 I / Study of Japanese Modern Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

semester：1 学期 単位数：2

担当教員：仁平 政人

コード：LM13204, 科目ナンバリング：LJS-LIT611J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代文学における〈異界〉
2. Course Title (授業題目)：Study on "Alien world" in Japanese Modern Literature
3. 授業の目的と概要：本演習は、明治期から近年にいたる多様な小説について、〈異界〉という概念を手がかりに、多様な社会的・文化的コンテクストを視野に入れて分析を行うことを目的とする。
受講者は、担当する作品についての分析の結果を資料に基づいて発表する。発表内容を踏まえた全体での討論をとおして、小説の精緻な読解を試みる。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The purpose of this exercise is to analyze various novels written from the Meiji period to recent years, taking into account various social and cultural contexts, based on the concept of <alien world>. Students present the results of their analysis of literary works. We try to read the novel in detail through the discussion based on the presentation.
5. 学習の到達目標：(1) 文学作品の分析と立論、発表の方法を習得する。
(2) 戦後における文学の多様な展開とその特質について理解を深める。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：(1) To learn how to analyze, present and present literary works.
(2) To deepen students' understanding of the diverse developments and characteristics of literature after the war.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. ガイダンス
 2. ガイダンス 2
 3. 担当者による口頭発表と討論
 4. 担当者による口頭発表と討論
 5. 担当者による口頭発表と討論
 6. 担当者による口頭発表と討論
 7. 担当者による口頭発表と討論
 8. 担当者による口頭発表と討論
 9. 担当者による口頭発表と討論
 10. 担当者による口頭発表と討論
 11. 担当者による口頭発表と討論
 12. 担当者による口頭発表と討論
 13. 担当者による口頭発表と討論
 14. 担当者による口頭発表と討論
 15. 担当者による口頭発表と討論
8. 成績評価方法：
授業における発表とレポート (70%)、授業への積極的参加 (30%)
9. 教科書および参考書：
教室で指示する。
10. 授業時間外学習：授業で取り上げる作品を受講者全員が事前に精読しておくこと。
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：
本演習は第 6 セメスターも連続して履修すること。

科目名：日本近代文学研究演習Ⅱ／ Study of Japanese Modern Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：仁平 政人

コード：LM23202, 科目ナンバリング：LJS-LIT612J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代文学における〈異界〉

2. Course Title (授業題目)：Study on "Alien world" in Japanese Modern Literature

3. 授業の目的と概要：本演習は、明治期から近年にいたる多様な小説について、〈異界〉という概念を手がかりに、多様な社会的・文化的コンテクストを視野に入れて分析を行うことを目的とする。

受講者は、担当する作品についての分析の結果を資料に基づいて発表する。発表内容を踏まえた全体での討論をとおして、小説の精緻な読解を試みる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this exercise is to analyze various novels written from the Meiji period to recent years, taking into account various social and cultural contexts, based on the concept of <alien world>.

Students present the results of their analysis of literary works. We try to read the novel in detail through the discussion based on the presentation.

5. 学習の到達目標：(1) 文学作品の分析と立論、発表の方法を習得する。

(2) 戦後における文学の多様な展開とその特質について理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) To learn how to analyze, present and present literary works.

(2) To deepen students' understanding of the diverse developments and characteristics of literature after the war.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 担当者による口頭発表と討論

3. 担当者による口頭発表と討論

4. 担当者による口頭発表と討論

5. 担当者による口頭発表と討論

6. 担当者による口頭発表と討論

7. 担当者による口頭発表と討論

8. 担当者による口頭発表と討論

9. 担当者による口頭発表と討論

10. 担当者による口頭発表と討論

11. 担当者による口頭発表と討論

12. 担当者による口頭発表と討論

13. 担当者による口頭発表と討論

14. 担当者による口頭発表と討論

15. 担当者による口頭発表と討論

8. 成績評価方法：

授業における発表とレポート (70%)、授業への積極的参加 (30%)

9. 教科書および参考書：

教室で指示する。

10. 授業時間外学習：授業で取り上げる作品を受講者全員が事前に精読しておくこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

本演習は第5セメスターから連続して履修すること。